

Internet Explorer の未修正の脆弱性に関する注意喚起

I. 概要

Microsoft 社の Internet Explorer に悪意のある細工がされたコンテンツを開くことで任意のコードが実行される脆弱性が存在します。

この脆弱性が悪用された場合、アプリケーションプログラムが異常終了したり、攻撃者によってパソコンを制御される可能性があります。

II. 対象

Internet Explorer 6

Internet Explorer 7

Internet Explorer 8

Internet Explorer 9

Internet Explorer 10

Internet Explorer 11

III. 対策

1.脆弱性の解消・修正プログラムの適用

※現時点では、修正プログラムは Microsoft より発表されておられません。

ただし、すぐに修正プログラムが来ますので、**1日1回、必ず Windows アップデートを実施してください。**

また、適宜、ニュース等にて修正プログラム情報をご確認ください。

2.回避策

修正プログラムを実行するまでは、**IE 以外のブラウザをご使用してください。**

※XP においては、Microsoft サポート終了のため修正プログラムが配布されません。
必ず別のブラウザをご使用ください。

また、IE をご使用する場合は、【参考文書】のサイト等を確認し、回避策を実施いただきますようお願い致します。

【参考文書】

独立行政法人 情報処理推進機構

<http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20140428-ms.html>